



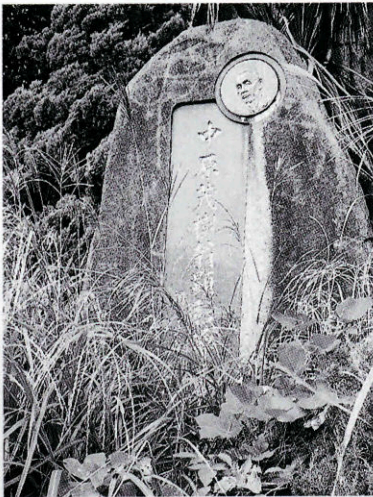
探訪 長門のいしおみ ⑬

中原茂樹翁顕彰碑

東深川湊・妙見山の中腹にあるこの碑は、昭和43年（1968）5月に、当時の湊漁業協同組合が建立した。

裏面・碑文の概略

——進歩的な識見をもっていた中原茂樹翁は、大正初期から湊浦青年会会長として地元の漁業組合や部落の発展を側面から支援した。大正11年（1922）には「湊浦漁業組合」の理事となり、同14年に40歳で組合長に就任。以来、太平洋戦争の終局まで、「大海一味」の信念に徹して水産業振興のために貢献した。その手腕は、県下でも高く評価されている。翁は、第一次欧州大戦後の、不況時に



あつては、組合員の負債整理のために東奔西走して政府資金を借り受け、組合員の窮状を打開した。

また、翁の漁港整備に対する熱意は、昭和15年（1940）、時の町政を動かして深川川の河川改修を完成させ、現在の湊漁港整備計画の基盤を創った。

ここに組合員の創意により顕彰の碑を建て、永くその功績をたたえる——

翁は、終戦後も、昭和29年（1954）から31年まで、再び湊漁協の組合長を務め、昭和38年に78歳で没した。

なお、湊・浜社の境内に立つ「革新記念碑」（大正2年建立）は、翁が青年会会長当時に、漁業近代化のため活躍した証でもある。

〔注〕碑文のなかの「大海一味」は、翁の好んだことばで「大きな海はみんなのもので平等」の意という

（正）



（寄稿・長門市郷土文化研究会）

みんなで防ごう住宅火災

これから寒くなり、ストーブを使うことが多くなると思いますが次のことに注意して使用しましょう。

1. 周囲、上方に燃えやすいものを置かない。
2. 火がついたまま移動させない。
3. 給油は火を完全に消し、燃料を確かめて行う。
4. 安全機能が備わったストーブを使う。

平成12年度全国統一防火標語

『火をつけた あなたの責任 最後まで』



火災時の問い合わせは

☎22-1414

長門地区消防本部・中央消防署

☎22-3111